



■ 新たな門出を迎える方々を代表する3名の方に、今後の抱負や、お世話になった方々へのメッセージをお聞きました。

Q どのような子ども時代を過ごしましたか？

A 小学6年生の時にキックベースボールの副キャプテンをしていました。チームの人数は少なく12人程でしたが、「勢いと声は負けないぞ！」という責任感を持って、大きな声を出してチームを引っ張っていました。

Q 福島区のどんなところが好きですか？

A 小学生の頃から何度も参加している福島天満宮での夏のおみこしです。高学年からはうちわ隊やおみこしを担いで楽しみました。地域の人に法被姿を褒めてもらった思い出もあり、とても温かいまちだと思います。また、上福島小学校は人数が少なかったこともあり、学年の異なる友達や親の名前も覚えることができ、どこかで会った時には声をかけてもらえることが嬉しかったです。

Q これからどんなことに挑戦していきたいですか？

A 大学の政策科学部で、自分で課題を見つけて、自分で解決する、ということをしています。私はタイ語で会話ができるので、タイに行き、現地の大学生とスラム街の改善に向けた調査を行いました。貧富の差が激しいスラム街ですが、その中でもコミュニティが形成されていました。将来の夢はまだ決まっていますが、タイ語を活かして何かしたいと思っています。学生生活を楽しみながら、地域行事にも参加して、友達と海外旅行にも行きたいです。やりたいことをやって人生を満喫したいと思います！

Q 最後に、お世話になった方へのメッセージをお願いします！

A 温かく見守っていただき、ここまで育ててくれてありがとうございます。これから自分のやりたいことを見つけて、あきらめないように取り組んでいきたいです。

うえぼう あいこ
上坊 藍子さん



Q どのような子ども時代を過ごしましたか？

A 小学生の頃は、アニメの影響と友達に誘われたことでサッカーをしていましたが、よくサボり、親から怒られていました。中学校にはサッカー部がなく続けられなかったのですが、小学校時代の先生から、有り余るエネルギーを発散するよう助言を受け、バスケットボール部に入部しました。

Q 福島区での思い出を教えてください。

A 祭りが楽しかったです。だんじりの屋根にのぼったり、太鼓を叩いたり、色々な経験をさせてもらいました。屋根にのぼることは、危険だと親がとても反対しましたが、周囲の人が熱心に説得してくれました。実際にのぼると、あまりの高さに足がガクガク震えました。

Q これからどんなことに挑戦していきたいですか？

A 音楽活動(バンド)です。高校の文化祭で初めて人前で歌ったことがきっかけで、卒業後、自費でライブ会場を借り、友達を無料招待して40人程のお客さんの前で歌ったことがあります。舞台のライトも当たって、より一層「人前で歌いたい、有名になりたい！」と思うようになりました。今は大学で軽音サークルに所属しています。自分で作った歌なら自分が一番上手く歌えると気づき、作曲もしています。

Q 最後に、お世話になった人へのメッセージをお願いします！

A これまで迷惑をかけてきたことへの恩返しではないですが、自分が大きく成長したところを見てもらいたいです。

とうじょう きょう
東條 葵葉さん



成長した自分を見てください！

Q どのような子ども時代を過ごしましたか？

A わがままで頑固、思ったことをはっきり言う性格でした。親が道を間違えていたらすかさず「こっち！」と教えることもあり、助けられたと聞いています。いつも自分の意見をしっかり持っていたからこそ、やりたいと思うことにすべて挑戦できました。特に、小学3年生から始めたスマイリーズというチームでのチアリーディングは高校2年生までやり切り、今はコーチをしています。

Q 福島区の良いところを教えてください。

A とてもいいまちだと感動したのが、夏祭りの片付けで公園の周りの掃除をしたとき、来場された方がごみをきちんと捨ててくれていて、落ち葉くらいしかなかったことです。また、小学校3年生から出演していた福島区民まつりは、色んなお店があるし舞台も楽しめてとてもおすすめです。

Q これからどんなことに挑戦していきたいですか？

A 現在、芸術大学でファッションを学んでいるのですが、将来は自分のブランドを立ち上げたいです。最初はハンドメイドの作品をSNSで発信して、どんどん大きくしていきたいです。

Q 最後に、お世話になった方へのメッセージをお願いします！

A 小学生の頃は、チアリーディング活動の裏側で、周囲の大人の方がどのように動き、支えてくれたかはっきり理解できていませんでしたが、大人になった今、活動を支える大変さが分かりました。今まで支えていただいた方や地域の方々の協力にとっても感謝しています。

そうわ ねね
相輪 寧音さん



自分のブランドを立ち上げたい！